

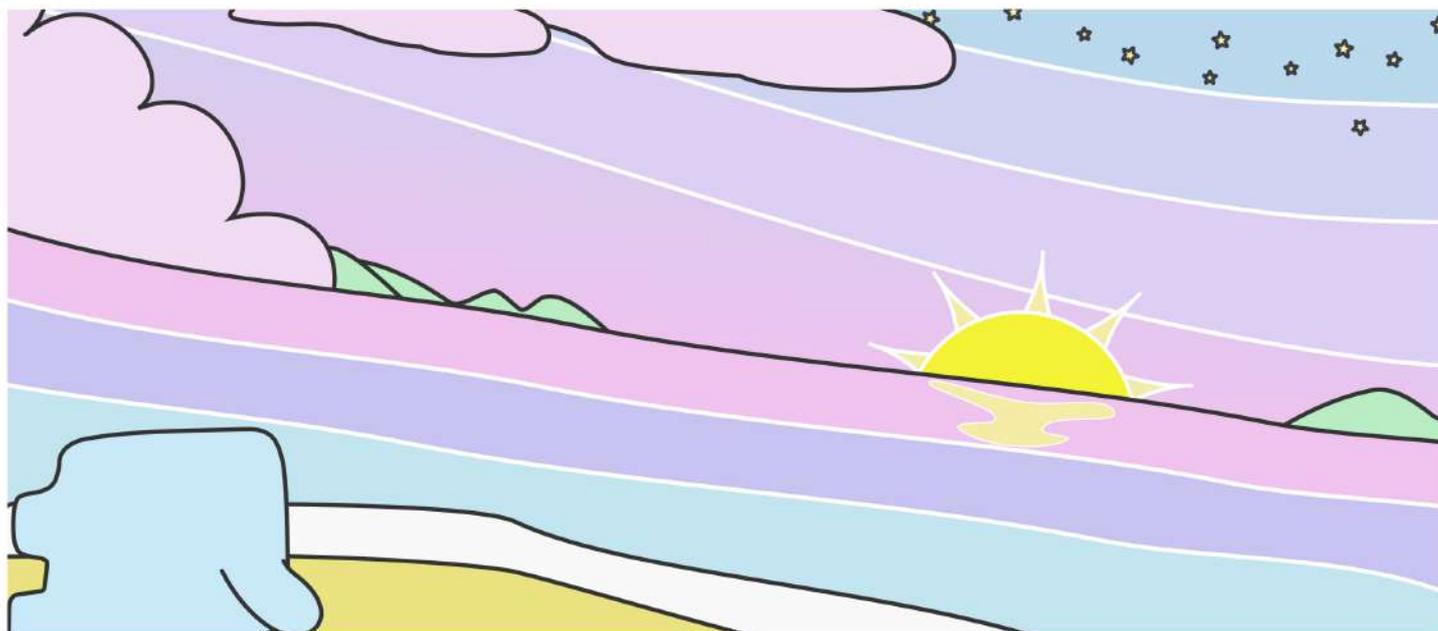
えんがわ だより

えんがわギャラリーがスタートします！
えんがわファンド申請受付

調布市市民活動支援センター
市民活動を応援する情報誌
2022.3 No.186

特集

えんがわファンド・はじめの一步
わたしもできるまちづくり



—— まちをより良くしたい 誰かのために何かやってみたい ——

当センターは、そんなあなたにそっと寄り添うため、「まちのえんがわになりたい」を合言葉に運営しています。「えんがわだより」は、調布のために活動する団体・ボランティアや寄付活動など、多彩な情報を紹介し、調布がさらに元気になることを願って、毎月15日に発行しています。活動のお問い合わせやご相談のほか、ご感想もお待ちしています。

ボランティア だより



八雲苑ボランティア

ボランティア募集！近隣地域の方、活動を始めてみませんか？

- 【内 容】①デイサービスの利用者さんに陶芸を教えてください
②デイサービスの利用者さんに書道を教えてください
③リネン室で清拭やバスタオル等々をたたむお手伝いをしてください

- 【日 時】①木・土 13:15～14:15 ②金・土 13:15～14:15
③毎日（午前）10:00～12:00（午後）13:00～15:00

【場 所】八雲苑（調布市八雲台1-5-5）

【問合せ】調布八雲苑 042-484-8551 担当：大久保

（注）新型コロナウイルスの流行状況に応じて受け入れを一時制限する場合があります



運行サービスボランティア

【内 容】公共交通機関の利用が困難な方のために福祉車両を運転し、外出を支援する活動です

【場 所】NPO調布ハンディキャブ事務局（富士見町3-15-14 さわハイツ101）

【資 格】普通自動車運転免許（過去2年間に免許停止処分を受けていない方）、30歳～73歳

【備 考】福祉有償運送に必要な資格講座費用（2日間）は当法人で全額負担します
修了証受領で福祉有償運送の資格が得られます
わずかですが謝礼金を差上げます

【問合せ】NPO調布ハンディキャブ事務局 042-440-3860

はるやすみ ボランティア

【内 容】春休みをきっかけに、ボランティア活動をスタートしませんか？

調布市内で活動している様々な団体などで、ボランティア体験ができるプログラムです

【申込期間】3月16日（水）～3月24日（木）

はるやすみボランティア
チラシ

【活動期間】3月26日（土）～4月5日（火）



【問合せ】市民活動支援センター 042-443-1220 上野



2022年ふゆやすみボランティアの様子

ボランティアガイダンスに参加しよう！

初めてボランティアに参加する方も、安心して活動スタートできるようサポートをしています

【内 容】ボランティアの4原則、調布市内で活動しているボランティア団体のご紹介等

【日 時】4月15日（金）10:00～11:00 【場 所】市民活動支援センター（国領町2-5-15コクティ-2階）

【備 考】無料・要予約 ご自宅での検温、マスク着用の上ご参加ください

【問合せ】市民活動支援センター 042-443-1220 鈴木

令和4年度行事保険料の改定についてのご案内

令和4年度行事保険について、下記の通り保険料改定されます

	Aプラン	Bプラン	Cプラン
1日行事 保険料 (1日あたり) ※1日の平均参加者は 5名以上必要です	a行事 33円 (30円から変更)	43円 (41円から変更)	62円 (58円から変更)
	b行事 129円	181円 (179円から変更)	271円 (269円から変更)
	c行事 250円 (249円から変更)	354円 (352円から変更)	534円 (531円から変更)

行事区分については、こちらをご参照ください

※宿泊行事の保険料(掛金)変更はありません

※補償金額の変更はありません

行事保険
パンフレット



ゆうちょ銀行の各種手数料が改定されました

ボランティア保険、行事保険の保険料支払いにおける、ゆうちょ銀行の各種手数料が改定しております

くわしくは市民活動支援センターHP、またはこちらをご確認ください



令和4年度 サポーター会員 募集!

市民活動支援センターのサポーター会員を募集しています! ご協力いただいたサポーター会費は「えんがわファンド」の原資となり、調布の市民活動団体を応援する助成金として活用されます。サポーター会員特典として、フリースペースはばたき優先予約制度あり!

会費	一口3,000円
受付期間	令和4年3月1日～令和5年3月31日
手続方法	市民活動支援センター窓口にてお手続きください 郵便局でお振込みも可能です
会員期間	令和4年3月1日～令和5年3月31日

えんがわファンド 申請受付します

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成するえんがわファンドの申請受付を開始します

【助成金額】 上限10万円

【助成対象期間】 2022年4月1日～2023年3月31日

【申請期間】 4月1日(金)～4月25日(月)17:00
申請についてはお気軽にご相談ください

【問合せ】 市民活動支援センター 池田

☎ 042-443-1220 ✉ npo-center@ccsw.or.jp



えんがわギャラリー
オープン記念イベント

フラワーサロンINAMI展

4月5日(火)～4月26日(火)
作品の写真展示など



わたしもできる

まちづくり

～えんがわファンド・はじめの一歩～

市民活動支援センターでは、ボランティア活動を始めとした、市民の皆さんの多種多様な活動をサポートするため、活動スペースの貸し出し、相談対応、広報協力、各種講座やイベントの開催など、様々な取り組みを行っています。

今回の特集記事では、それらの取り組みの中でも、調布市市民活動支援センター独自の取り組みとして行っている助成事業、「えんがわファンド」について紹介します。

えんがわファンドとは

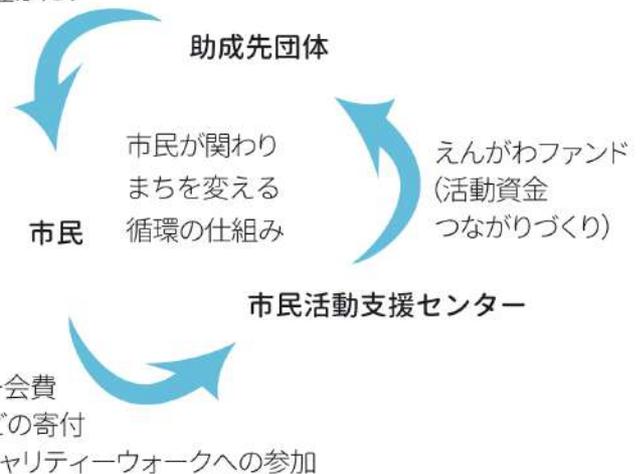
えんがわファンドは、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティアグループ・市民活動団体を応援する助成金の仕組みです。1団体あたりの助成金額は、上限10万円と、他の財団等が行っている助成事業と比べ、決して多くはありませんが、えんがわファンドは「調布のまちをより豊かでよいまちにしたい」という思いに共感いただいた市民の皆さんからの寄付が元手になっており、市民が市民の活動を支えている点が非常に意義深い事業だと考えています。

えんがわファンドの仕組み

えんがわファンドは、右図のように、市民活動支援センターで受け付けている、市民の皆さんからの貴重な寄付がその原資になっています。

また、えんがわファンドは活動資金を助成するだけでなく、地域の多様な人や団体とのつながりを生むサポートを行い、団体の活動の広がりや自立をサポートしている点も特徴です。

活動の成果で
まちを豊かに！



助成先団体の声



調布市高齢者支援ボランティアセルフエスティーム

私たちは、まだ団体を立ち上げたばかりで、これからどのように地域の皆さんに知ってもらえば良いのだろうかと悩んでいたところ、えんがわファンドを知り、申請を決めました。そのため、いただいた助成金では、団体のパンフレットやポスターを作成しました。このパンフレットは、知人の画家さんや写真家さんが「癒し」をテーマに作成に協力してくれています。

せっかく素敵なパンフレットができましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた通りに活動できず、まだ十分にお知らせできていませんが、落ち着いたタイミングを見計らいながら、地域の皆さんにお届けしていきたいと思っています。



団体紹介ページ

ひきこもり家族会「やまぼうし」

私たちは、活動開始から2年目にえんがわファンドの存在を知り、申請しました。助成金は、学習会の開催(講師謝礼)と活動を知っていただくためのリーフレット作成に活用させていただきましたが、学習会では、家族の会話を対話に変えるための方法を学ぶ等、ワークも交えたいきいきとした家族会が開催できるようになりました。リーフレットは、市内の公共施設等に配架していますが、家族会の存在を知らずに悩んでいる方の目に少しでも留まってくれたらと想いを込めました。

えんがわファンドへの申請を通じ、家族会が本当に自分たちのものになったという実感があり、嬉しく思っています。



団体リーフレット



今回ご紹介した団体の他にも、子ども食堂や高齢者の健康長寿を目的とした活動、災害支援を行う団体など、多種多様な団体(延べ170団体)に助成してきました。えんがわファンドの助成決定をきっかけに、団体の活動が一層広がり、いきいきとした活動になっていく姿は、私たちの大きな励みでもあります。

誰もがまちづくりに参加できる仕組み

「調布のまちがより豊かでよいまちになる」これは調布に住む誰もが望んでいるのではないのでしょうか。えんがわファンドは、ひとりひとりができることを無理なく行って、この願いに関わることができる仕組みです。

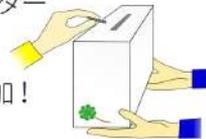
選べる参加のかたち

①寄付で参加

えんがわファンドサポーター会費
1口3,000円の
寄付で参加!



えんがわファンド募金
市民活動支援センター
募金箱へ
1円～の寄付で参加!



使用済み切手、外国コイン、入れ歯
自宅にある意外な
物の寄付で参加!



②活動で参加

寄付物品の仕分け、整理
使用済み切手の整理ボランティア
として参加!



ちょうふチャリティーウォーク実行委員会
参加費まるごと寄付になる
イベントの実行委員
として参加!



③イベントで参加

ちょうふチャリティーウォーク
参加費を払って参加!



まちづくりに関わると言う、「大変そう」「忙しくて時間がない」と思う方も多いかもしれませんが、参加のかたちは、実は様々です。時間をかけなくても、継続しなくても参加できる方法もあります。特別なスキルや専門的な知識がなくても、できることがあります。

市民活動支援センターでお待ちしています!

市民活動支援センターでは、皆さんの「調布のために何かしたい」という想いを応援・実現するため、様々な提案を準備しています。何かしたいけれど継続的な時間の確保ができない方や、団体の活動に参加するのはちょっと苦手という方は、まずはえんがわファンドからまちづくりに参加してみませんか?

おしらせ

人生100年時代の「セカンドライフセミナー」

いつまでも元気で自立した暮らしをおくるために

医療の側面から、介護にならない生活のヒントをうかがいます

【日 時】3月19日(土)14:00~16:00【場 所】菊野台地域福祉センター【定 員】30名(申し込み順)

【備 考】講師 宇野重起氏(UMM&C代表 日本医療経営研究所主任研究員)

【参加費】無料 ※参加者に認知機能セルフチェックシートを差し上げます

【申 込】菊野台コーナー 042-481-6500 青木(火・木・土)

「調布憲法ひろば」学習会

ウクライナで始まった新たな戦争、核使用の脅しまで。平和への祈りの声は届かないのでしょうか？

【内 容】世界を動かす被爆者の声 — 核兵器禁止条約発効から1年とこれから

【日 時】3月21日(月・休)13:30~16:00【場 所】あくろすホール

【備 考】お話 渡辺里香さん(ピースボート)参加費 300円

【主 催】調布九条の会「憲法ひろば」(略称「調布憲法ひろば」)

【問合せ】調布九条の会「憲法ひろば」042-487-7710(石川)

青春わくわくクラブ

昭和歌謡曲にのせてリズム体操、爆笑脳トレ、座ってできる簡単筋トレ、レクリエーション等
介護福祉士・フィットネスインストラクターの羽田先生のリードで楽しく脳と体を動かします

【日 時】毎月3回 第1土曜日14:00~15:30 第2・4日曜日 10:00~11:30

【場 所】染地地域福祉センター 第1・2集会室【対 象】どなたでも

【参加費】1回500円【申 込】染地コーナー 042-481-3790 渡邊(火~土)

スマートフォンの操作困っていませんか？
スマートフォンを使いこなしたい方集まれ！

染地

不安や疑問にボランティアさんが丁寧にお答えします

【日 時】毎月第2土曜日①14:00~15:00(定員3名)②15:00~16:00(定員3名)

【場 所】染地地域福祉センター【対 象】スマホ操作に困っている方どなたでも

【申 込】染地コーナー 042-481-3790 渡邊(火~土)

緑ヶ丘

スマートフォン・インターネットをもっと楽しみたい方、集まろー！参加者募集

スマートフォンを使える楽しさを体験しよう！参加者からの質問を受けながら対応します

【日 時】毎月第3土曜日13:30~15:30(定員10名程度)【場 所】緑ヶ丘地域福祉センター

【対 象】①もっと使いこなしてみたいと思っている方 ②初心者には操作を教えて下さる方

【備 考】参加費無料 ご自宅での検温、マスク着用でご参加ください

【申 込】緑ヶ丘コーナー 03-3326-4088 折原(火・木・土)

菊野台

スマホdeサロン

~ちょっと困ったを何とかしたい~

スマートフォン操作の疑問をボランティアさんと一緒に解決しよう

【日 時】毎月第2・4火曜日10:00~11:45(入退室自由)

【場 所】菊野台地域福祉センター第2集会室【備 考】参加費無料

【申 込】菊野台コーナー 青木042-481-6500 (火・木・土)



市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

桜月

市民活動支援センター(あくろす) えんがわギャラリーがスタートします！

えんがわセットの解体から早一年。そのスペースは現在、作品展示のギャラリー開設のため、準備中です。



カメラマンの手によってどんな写真が生まれるのでしょうか

センターの活動スペースはばたきでは、様々な団体さんがコロナ禍でも工夫しながら、市民活動やサークル活動を行っています。ギャラリーは日頃の活動発表の場に役立てていただけたらと、開設の運びとなりました。

オープンを飾るのは、「フラワーサロン INAMI」さんです。(毎週火曜日) 毎回フラワーアレンジメントを楽しみ、みなさんと和やかに活動しています。今回のギャラリーでは、アレンジされたお花をカメラマンの手によって、華やかな写真としてピンナップします。また、お洒落なプリザーブドフラワーも展示します。(令和4年4月5日～26日に展示)

皆さんが楽しめるギャラリーに仕上がるよう、職員も準備を進めています。「私たちも展示したい!!」というご希望がございましたら、活動成果の発表の場として、ギャラリー展示をご検討ください。お待ちしております。※活動場所がはばたき以外でも大歓迎です！

(すずき)

小島町コーナー リスクに備えましょう！

日本で最初のボランティア保険は、全社協が保険契約者となる「ボランティア活動保険」で、1977年に誕生しました。子ども会のハイキング行事で児童が溺死する事故が起き、引率者が提訴されました。ボランティア活動に対して法的責任が追及されたことが契機となり、活動中の事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償するためのボランティア保険が生まれたのです。

ボランティア活動が広く社会に認知されるようになり、身近なものになっていることは非常に嬉しいことですが、同時に活動中の思わぬ事故が増加しています。あなたの温かい活動が最後まで安心・安全に遂行できるよう「ボランティア保険」の加入をお勧めします。リスクに備えましょう！

(あさみ)



【加入受け付け・問い合わせ】市民活動支援センター、小島町コーナー

※保険の内容に関するお問合せは取引代理店または引受保険会社へ直接お問合せください。

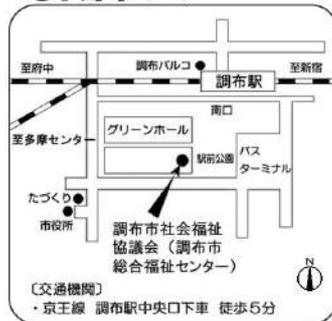
センターと各ブランチへのアクセス

●市民活動支援センター



調布市国領町 2-5-15 コクティ-2F
 Tel : 042-443-1220
 Fax : 042-443-1221
 Mail : npo-center@ccsw.or.jp
 開館時間 : 8:30 ~ 22:00
 休館日 : 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



調布市小島町 2-47-1
 総合福祉センター 2F
 Tel : 042-481-7695
 Fax : 042-481-6611
 Mail : kojimacho@ccsw.or.jp
 開館日時 : 月 ~ 金曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 佐藤・浅見

●染地コーナー



調布市染地 3-3-1
 染地地域福祉センター内
 Tel/Fax : 042-481-3790
 Mail : somechi@ccsw.or.jp
 開館日時 : 火 ~ 土曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 渡邊

●西部コーナー



調布市上石原 2-15-6
 西部地域福祉センター内
 Tel/Fax : 042-426-4335
 Mail : seibu@ccsw.or.jp
 開館日時 : 火 ~ 土曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 浦井

●菊野台コーナー



調布市菊野台 1-38-1
 菊野台地域福祉センター内
 Tel/Fax : 042-481-6500
 Mail : kikunodai@ccsw.or.jp
 開館日時 : 火・木・土曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 青木

●富士見コーナー



調布市富士見町 4-15-6
 富士見地域福祉センター内
 Tel/Fax : 042-481-8719
 Mail : fujimi@ccsw.or.jp
 開館日時 : 火・木・土曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 岡澤

●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘 2-18-49
 緑ヶ丘地域福祉センター内
 Tel/Fax : 03-3326-4088
 Mail : midori@ccsw.or.jp
 開館日時 : 火・木・土曜日
 9:00 ~ 17:00
 コーディネーター : 折原

●野ヶ谷の郷



調布市深大寺東町 6-27-3
 Tel/Fax 042-481-1838
 開館日時 : 火・木・土曜日
 10:00 ~ 16:00

ボランティアさんで運営する地域の居場所
 「であい・ふれあい・支えあい」
野ヶ谷の郷 から、



野ヶ谷の郷入り口に毎日出す(火、木、土)看板です。このおさそいの言葉で入ってこられる方もいらっしゃいます。

こんにちは
 ようこそ
 野ヶ谷の郷へ
 地域に開放された
 場所です
 ちょっとのそいで
 みませんか?
 気楽に
 お立ち寄りください



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する
えんがわファンドサポーター募集中 1口 3,000円



会費は、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。
 「調布のまちをあなたが変える」そんな1歩を踏み出してみませんか?